

たかねまちづくり協議会事業評価シート

担 当 部 会 名	地域振興部							
1 事業の位置付け (P l a n)								
事 業 名	地域情報誌発行事業	事業 番号	1-(1)		個別 番号	②		
まちづくり計画書の 基 本 方 針	☐ (1) 地域資源調査を行い、その結果を情報発信する。 ☐ (2) 地域の人々が相互の交流と理解を深めるための場や歌をつくる。 ☐ (3) 美化活動を推進し、美しい自然や景観を守る。 ☐ (4) 地域防災の仕組みを具体化させる。 ☐ (5) 支え合いを大切にして、みんなが元気で安心して暮らせる仕組みをつくる。 ☐ (6) 農業振興を図り、若者の定住に繋がる取り組みを行う。					取組みの方向性や 実施する事業		
計 画 年 度 ※	H24	H25	H26	H27	H28			
実 施 年 度 ●		●		●		●		●

2 事業の実施 (D o)								
事業の内容	概 要	たかねまちづくり協議会の事業を広くお知らせし、存在をPRする。 年4回発行(3月、6月、10月、12月) ※H24は3回(4月、9月、1月) 印刷部数 1回1,000部						
	対 象	高根地区住民						
	事 業 期 間							
	成 果 指 標	なし						
	成 果	地域の活躍している人を紹介できた。地域の行事やまちづくり協議会の事業を発信できた。						
	課 題	もっと読んでもらえるようにする。公共施設等広くおいて広まるようにしたい。						
経費及び指標	項 目	H24	H25	H26	H27	H28(見込)	合計	
	経 費 (千 円)	63	160	165	193	190	771	
	会 議 回 数	3	4	4	4	4	19	
	会 議 人 数	20	30	28	28	25	131	
	全体アンケート					●		
	結果	よかった・ふつう109 / 知らなかった10 / よくなかった4						

3 事業の視点別評価 (Check)	
達成度	成果の達成度 ☐ 達成度はかなり高い ☒ 達成度はやや高い ☐ 達成度は低い (上記選択の理由) 成果はあったが、たかねまちづくり協議会の存在を存分にPRするには至らなかった。
必要性	実施の必要性 ☐ 必要性が高い ☒ 必要性が今後高まっていく ☐ 必要性が低い、ない (上記選択の理由) たかねまちづくり協議会の存在を広くPRしたい。高齢化により広報紙を求める人が増えるのではない。
	まち協が関与する妥当性 ☒ 関与すべき ☐ 集落で実施すべき ☐ 団体等で実施すべき (上記選択の理由) 他団体では実施できない。
効率性	対象・手段の妥当性 ☐ 妥当 ☒ 改善の余地あり (上記選択の理由) 発信方法の見直しが必要である。
	事業費の削減余地 ☐ 削減の余地あり ☒ 削減の余地はない (上記選択の理由) 発信方法の見直しにより事業費を増やすべきである。
	人員の削減余地 ☐ 削減の余地あり ☒ 削減の余地はない (上記選択の理由) 発信方法の見直しにより人員を増やすべきである。
	成果の向上余地 ☐ 余地あり ☒ 余地がある程度ある ☐ 余地はほとんどない (上記選択の理由) 年齢別、対象に合わせた発信方法を考える。

4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価結果	今後の改革の方向性 ☐ 現状継続 ☒ 見直しのうえで継続 ⇒ 今後の方向性： ☒ 拡大 ☐ 他の事業と統合 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止(発展的解消含む、実施取りやめを含む)
	(上記方向付けの理由) 年4回の紙での発行に加え、様々な媒体で発信していく。
	(改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画) SNS、あさひチャンネルなどで発信する。独自ドメインによる独自ホームページの立ち上げを検討する。他の部署にも割り当てて作成してもらう。